

タイの大学より タイ舞踊家・指導者が日本舞踊研修

From Thailand, Thai Dance teachers train Japanese Dance

(2025年6月1日～6月8日, June 1st to 8th)



レッスン後の笑顔

After a lesson



1週間の集中レッスンを終え、記念撮影

After competing a week of intensive lesson



期間中、一日は 鹿児島市の小学校にて
タイ王国、舞踊の紹介をする鑑賞会に協力。
全校生徒と先生方がタイ舞踊の鑑賞と踊りの体験をしました。
子ども達は興味津々、特に美しい衣裳には 男の子からも「着てみたい」と感想が届きました。

They introduced Thailand and Thai Dance to the elementary school
Children and teachers on June 5th.
The children were very curious about dancing and beautiful costume.





新聞社の取材も受けました。まずはタイの民族衣装で

They were interviewed by a newspaper. Thai traditional clothing.

日本舞踊には、タイ舞踊と通じる精神があるという話になりました。

アジアの舞踊を広く学び、タイ舞踊の指導をしておられます。

タイのナレスワン大学では、日本舞踊の指導も始まっています。

The conversation even reached the point of discussing how there is a common spirit both dances.

At Naresuan University in Thailand, lectures on Japanese dance have also started.



取材終わりに 外で記念撮影 After interview, Smile !

タイの舞踊家 日舞稽古に熱

タイの大学で教える舞踊家ら5人が、日本舞踊の研修で鹿児島市を訪れた。国際文化交流会TEN代表で、吾妻流師範烏野ユリ子さん(84)は桜ヶ丘4丁目リ宅に1週間ホームステイし1日4時間、稽古に打ち込んだ。現地で日舞を伝えるプロジェクトを始める計画で、「学んだことを学生たちに伝えたい」と意気込む。

鹿児島市の烏野さん指導

帰国後に研修計画

TENは、鹿児島を拠点に日舞や生け花、箏曲など日本の伝統文化を海外に紹介し、文化留学生も受け入れている。これまで約20カ国で文化交流公演を開催。タイでは2004年の公演以降、現地や鹿児島で日舞研修を開いてきた。

今回訪れたのは、タイ北部にあるナレスワン大学芸術舞台科の教員ら。1~7日に滞在し、烏野さんと長女恵子さん(59)から所作や振り付けに込められた意味などを学んだ。

同科准教授のプラパ

スイ・スイプラティイさん(47)は「繊細な手の動きや、円を描く動作で生と死を表現するなどタイ舞踊との共通点に改めて気づいた」。講師のルンナパー・チムプットさん(54)は23年にも大学の奨学金で烏野さん親子の元で約3カ月学び、「踊りだけでなく心の在り方も教えてもらつた」と語る。

一行は帰国後、現地の舞踊関係者を対象に研修を開く。「日舞を学びたい人は多い。来年は先生をタイに招いて指導してもらいたい」とルンナパーさん。ユリ子さんは「それまで元気でいなくちゃ」とほほ笑む。

(加藤朋子)



烏野恵子さん(左から3人目)から日本舞踊を学ぶタイの舞踊家ら。鹿児島市桜ヶ丘4丁目の国際文化交流会TEN

6月15日の新聞に掲載されました

Their training session was featured on June 15th Newspaper.